

科目名	自動車技術							年度	2025
英語科目名	Car technology							学期	後期
学科・学年	自動車整備科 1 年次	必／選	必	時間数	80	単位数	5	種別※	講義
担当教員	清水拓也、和田浩、村木亮治、非常勤講師	教員の実務経験		有	実務経験の職種		一級自動車整備士、自動車整備士		
【科目の目的】 自動車の基本構造を更に深く学び、各自動車構成部品の繋がりを意識しながら、構造、機能が理解できるように授業を進める。項目ごとに理解度確認テストを行い、短期的な目標を設定することで学生が項目ごとの理解度をしっかりと認識する。事前学習、復習をしっかりと行い、二級国家自動車整備士資格を取得できることを目指す。									
【科目の概要】 自動車を構成しているエンジン・シャシ・電子電気装置の部品・構造・機構・動作原理について学びます。									
【到達目標】 ガソリンエンジンとディーゼルエンジンの構造及び作動の違いを理解し、自動車のサスペンションやステアリング装置の種類や構造及び作動を理解すること、自動車の充電装置や始動装置などの電気回路を理解して電気の流れを説明できるようになること。これにより実習授業において、自動車の部品の構造及び作動をイメージしながら点検整備作業が出来るようになり、三級自動車整備士相当の知識及び技術を身につけることを目標とする。									
【授業の注意点】 学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。教員の指示に従い、勝手な作業を行わないこと。不明な点は教員に確認し、理解を深める努力をすること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は補習が完了するまで評価を行わない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	ガソリンエンジンの基礎について積極的に学び、発展的な解釈ができる	ガソリンエンジンの基礎について積極的に学び、理解することができる	ガソリンエンジンの基礎について学び、理解することができる	ガソリンエンジンの基礎について理解できない	ガソリンエンジンの基礎について理解する姿勢がない				
到達目標 B	ディーゼルエンジンの基礎について積極的に学び、発展的な解釈ができる	ディーゼルエンジンの基礎について積極的に学び、理解することができる	ディーゼルエンジンの基礎について学び、理解することができる	ディーゼルエンジンの基礎について理解できない	ディーゼルエンジンの基礎について理解する姿勢がない				
到達目標 C	シャシ構造の基礎について積極的に学び、発展的な解釈ができる	シャシ構造の基礎について積極的に学び、理解することができる	シャシ構造の基礎について学び、理解することができる	シャシ構造の基礎について理解できない	シャシ構造の基礎について理解する姿勢がない				
【教科書】 適時レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料などは、授業中に指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験を総合的に評価（100％）									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

